

# 新しい公共と「子育て基金」(仮称)

「『新しい公共』づくりをめざした市民と民主党の  
政策形成プロジェクト」

第2回(2010年2月25日)

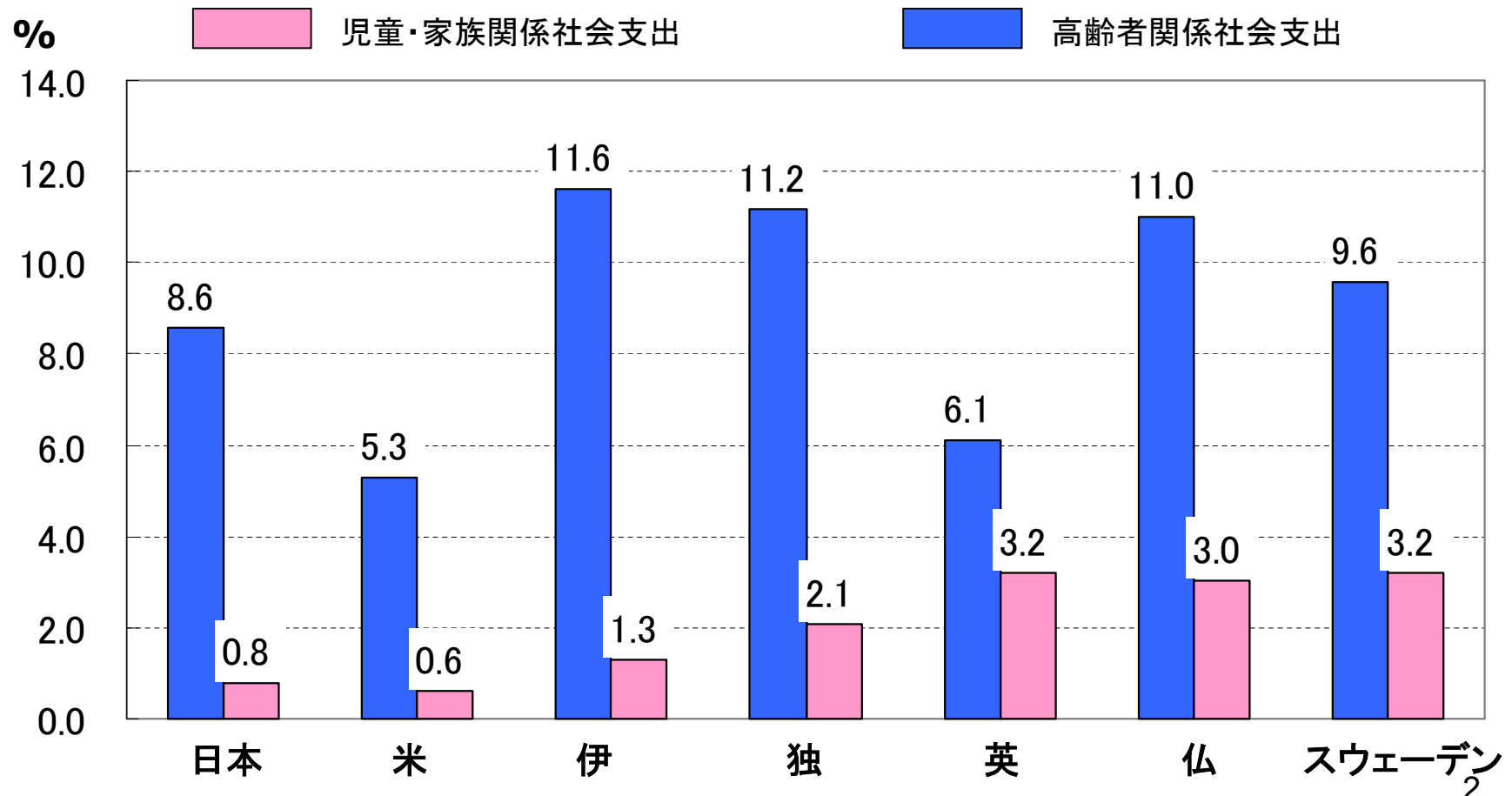
日本労働組合総連合会(連合)  
総合政策局

# 子ども・子育て社会支出が少ない日本

長妻厚生労働大臣所信表明(第174回国会)

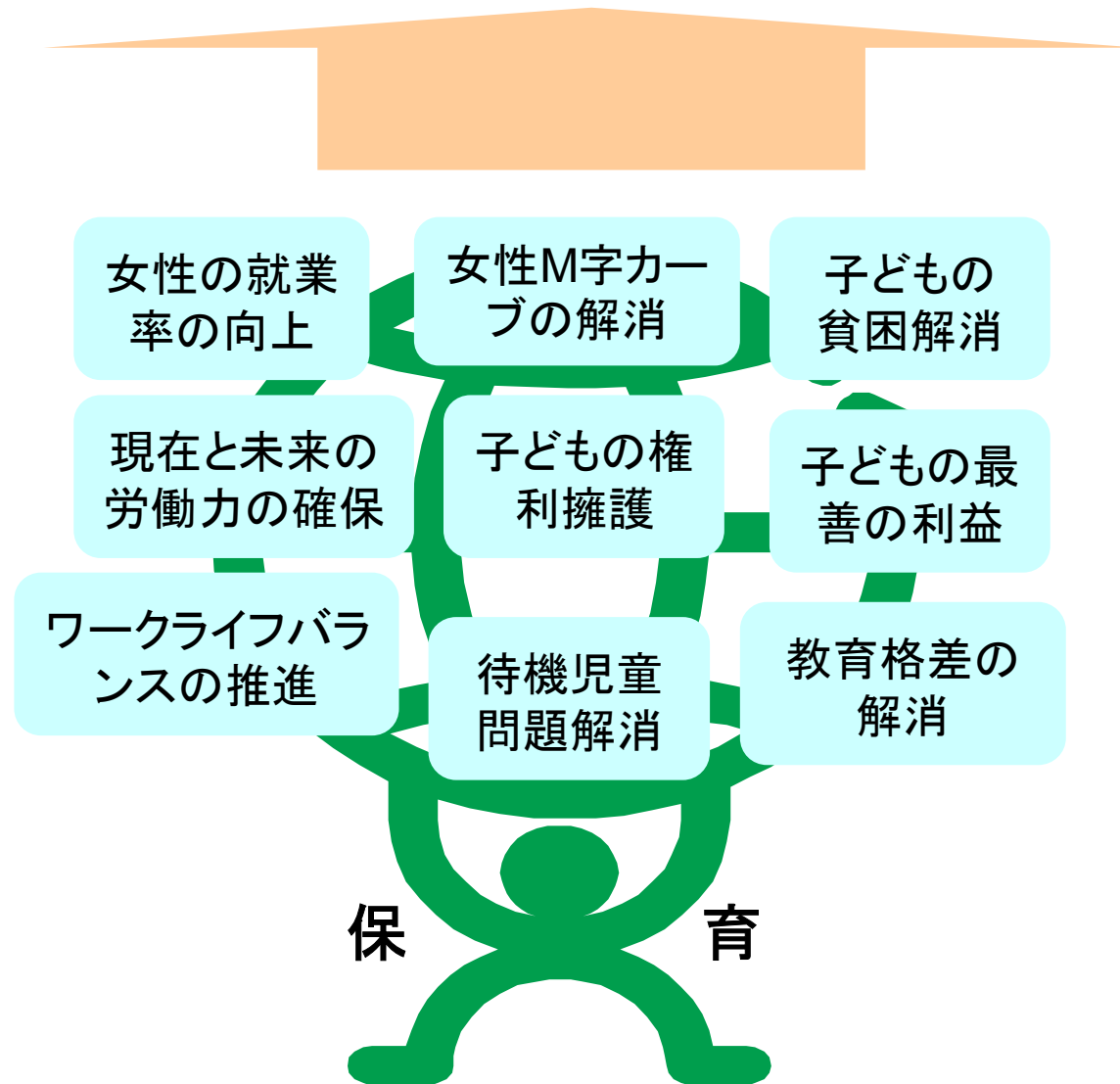
「日本は先進国の中で、子育て支援にける予算がGDPの比率で見ても、最も少ない国の一つです。」

## 各国の子ども・子育て関係及び高齢者社会支出の対GDP比(2005年)



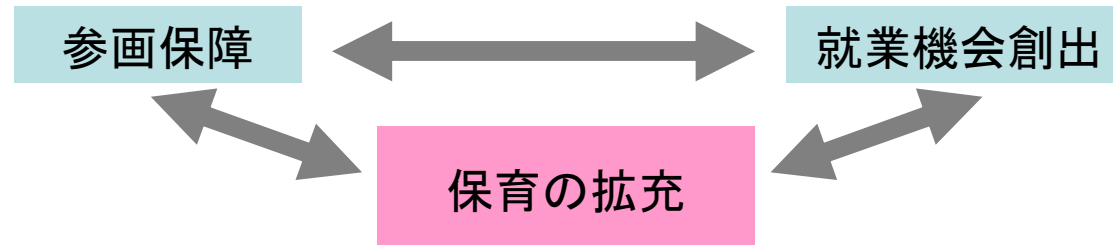
OECD Social Expenditure Databaseをもとに連合が作成

# 保育は「未来への投資」

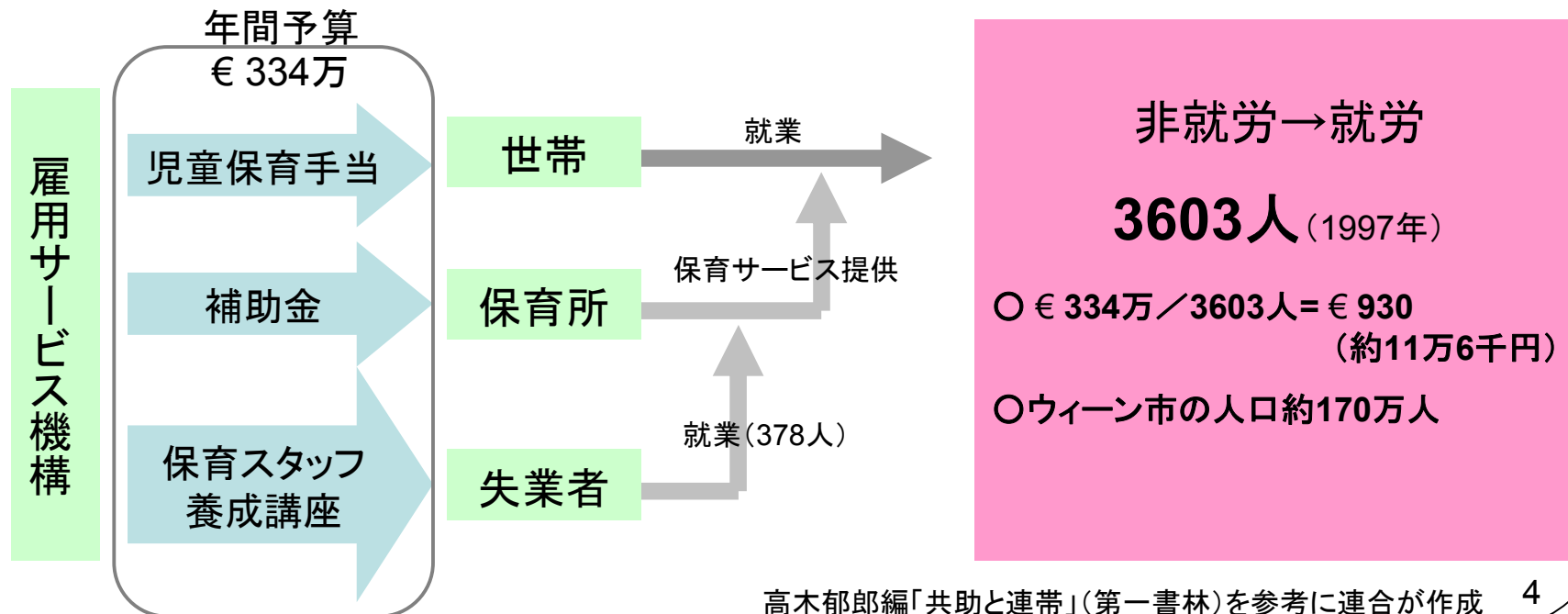


# ソーシャルインクルージョンと保育サービス

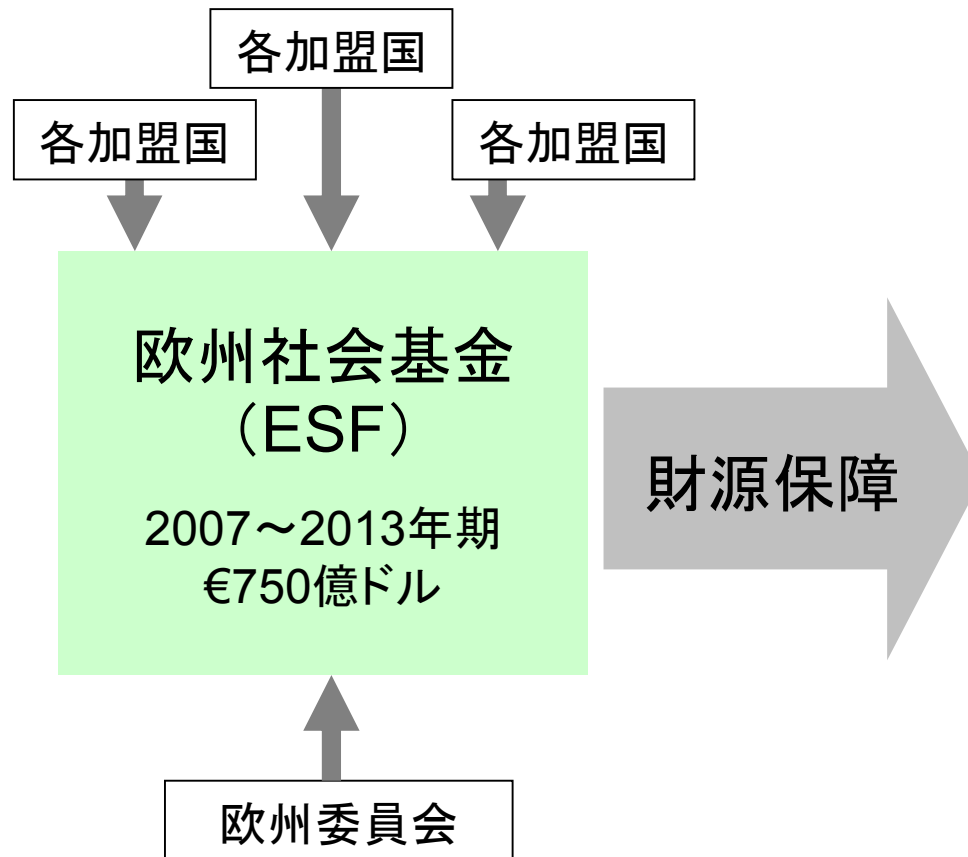
## ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)



事例: オーストリア「雇用サービス機構」による保育サービスの拡充(ウィーン市)



# 多様なステークホルダーが参画するための財源保障 — 欧州社会基金の例 —



## 第3のシステム

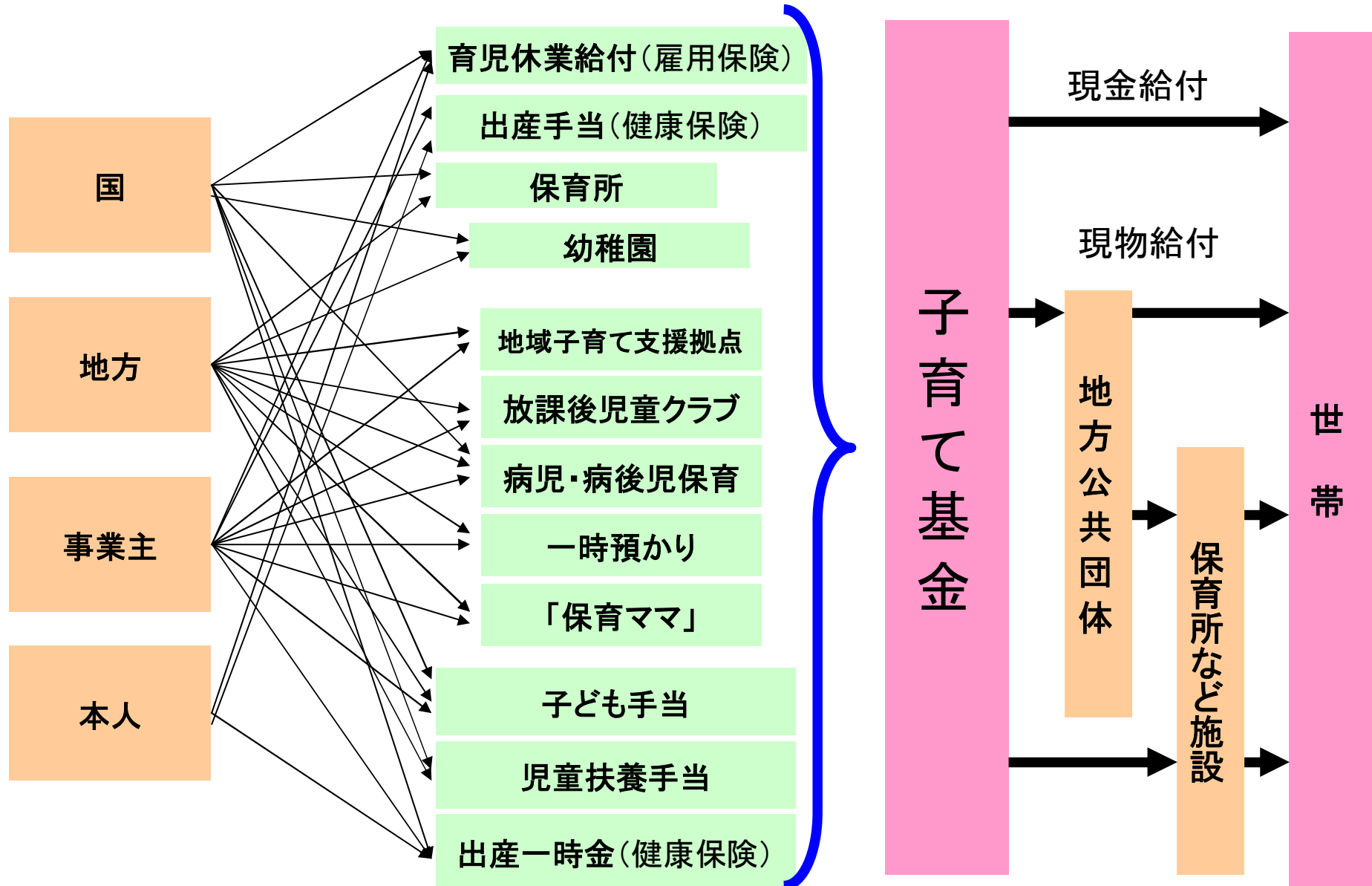
(社会的企業、社会的経済、コミュニティビジネス)

- 高齢者、女性、長期失業者など社会的弱者となりやすいグループを対象に医療、介護、保育などの社会サービスを整備し、現物支給による生活保障を拡充すると同時に、これらのサービスにおいて雇用を創出し多くの就労を吸収する。
- 労働組合、労使協議会、産業団体、地方政府、教育・訓練機関、NPO、あるいは複数の団体によるパートナーシップなど多様な主体により実施されている。

# 連合が提案する「子育て基金」(仮称)

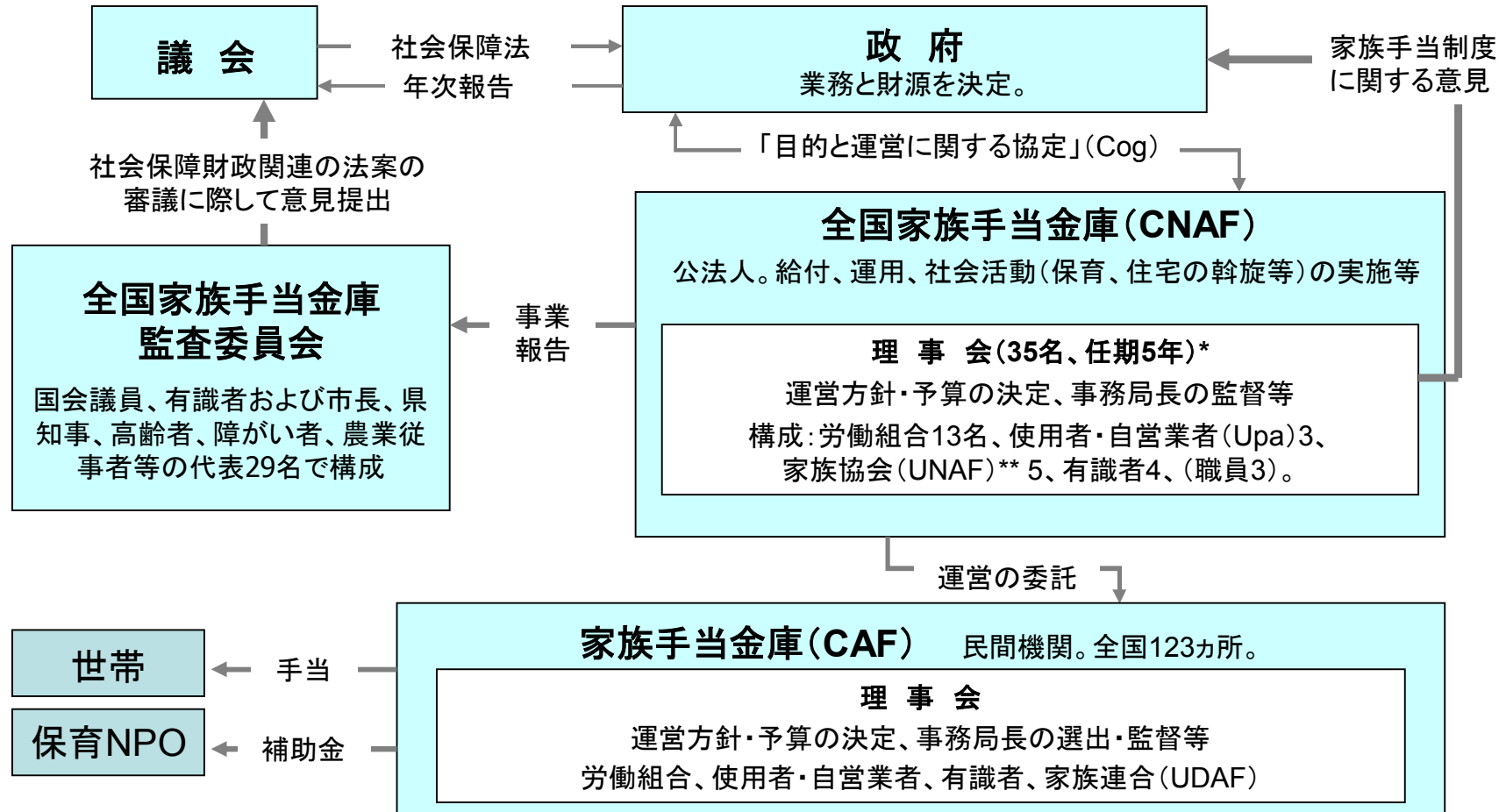
1. **子ども・子育て支援の財源を保障します！**  
(子どもと子育てに確実に財源がまわるための財源の一元化)
2. **サービスの利用保障を強化します！**  
(「保育に欠ける子」から、すべての「保育を必要とする子」に)
3. **サービスの質を維持・改善し、子どもの権利を擁護します！**  
(ナショナルミニマム《国の最低基準》の維持と子どもの権利擁護の仕組み)
4. **社会全体で子ども・子育て財源の重層的な負担構造を維持します！**  
(子どもと子育てのための財源を国・地方・事業主・個人で支える仕組み)
5. **子ども・子育て支援の政策コスト効率化します！**  
(「縦割り」を廃止し、総合的な子ども・子育て支援策の推進)
6. **多様なステークホルダーの参画と多様な担い手の参入を促進します！**  
(参画・参入と合意の場づくり)

# 子ども・子育て支援財源を「子育て基金」に一元化



# フランスの家族手当の運営組織

(「1996年4月24日オールドナンス」による規定)



\*現在は、フランス経営者運動(MEDEF)等の経営団体推薦理事が欠員のため、25名で構成。

\*\*家族協会は、カソリック家族の会、鉄道員家族の会、被養護児童の支援組織など児童関係の様々な団体からなる連合会、全国組織(UNAF)と県組織(UDAF)がある。